



トピー工業株式会社

証券コード 7231



Change

Growth &

第125期 株主の皆様へ

2018年4月1日から2019年3月31日まで

「G&Cの完遂と次なる成長に向けて」を基本方針として、新中期経営計画「Growth & Change 2021」に取り組んでまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第125期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。当期は、中期経営計画「Growth & Change 2018」の最終年度として次の成長への基盤づくりを着実に推進しました。自動車・産業機械部品事業においては、スチールホイールメーカーのリンテックス株式会社及びアルミホイールメーカーの旭テック株式会社を完全子会社化し、自動車用ホイール事業の基盤強化と海外拠点の拡充を図りました。また、東南アジア地域の建設機械需要の増加に対応するため、トピー履帯インドネシアの履帯組立ラインの稼働を開始いたしました。

当期の業績につきましては、建設機械用足回り部品等の販売数量の増加や自動車用ホイール事業の新規連結効果等により、売上高は前期を上回りました。一方で、昨年10月の豊橋製造所の製鋼設備トラブルによる機会損失があり、営業利益は前期比で減益となりましたが、受取保険金を計上したこと等により経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前期比で増益となりました。

第126期より、当社グループは新中期経営計画「Growth & Change 2021」をスタートしました。株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

連結財務ハイライト

売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



2018年度のセグメント別の経営環境と連結業績についてご説明ください。

鉄鋼事業については、鋼材需要は底堅く推移しました。一方、主原料である鉄スクラップ価格が高止まりする中で、電極や合金鉄等の副資材価格が高騰する等、コスト面では厳しい環境が続きました。このような環境の中、当社グループは販売数量の拡大とコスト改善に引き続き取り組むとともに、販売価格の改善を進めました。また、製鋼設備トラブルに対しては早期復旧を果たし、復旧後の挽回に努めました。その結果、売上高は804億4千2百万円（前期比12.5%増）、営業利益は22億4千8百万円（前期比16.7%増）となりました。

自動車・産業機械部品事業について、建設機械業界においては中国や北米を中心として世界的に油圧ショベル需要は拡大しました。また、世界各地の鉱山機械需要についても引き続き好調に推移しました。このような環境を受けて当社グループは、建設機械用足回り部品や鉱山向け超大型ホイールの需要を着実に捕捉したことに加えて、自動車用ホイール事業の新規連結効果等により売上高は1,881億7千5百万円（前

期比31.8%増）となりました。しかしながら、材料価格の上昇等によるコストアップや買収に係る一時費用の発生等により、営業利益は78億3千3百万円（前期比7.1%減）となりました。

発電事業は、事業計画に沿って安定した電力供給に努めてまいりました。電力販売価格の上昇等により、売上高は105億6千7百万円（前期比10.1%増）、営業利益は12億2千8百万円（前期比41.0%増）となりました。

その他の事業については、売上高は70億4千1百万円（前期比7.5%増）、営業利益は15億5千万円（前期比5.8%増）となりました。

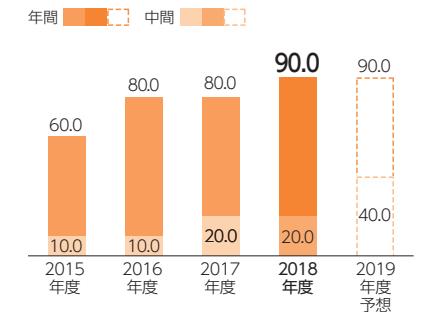
経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



1株当たり配当 (単位: 円)



2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり配当」を算定しています。

代表取締役社長
高松信彦

Q 新中期経営計画“Growth & Change 2021” (G&C 2021) の概要をお聞かせください。

G&C 2021は、2012年度から“Growth & Change”をスローガンに掲げて「グローバルでの“成長”と「高収益体質への“変革”」に取り組んできた一連の中期経営計画の最終ステージと位置付けています。「G&Cの完遂と次なる成長に向けて」を基本方針として、前中期経営計画で拡充した事業の収益力向上に軸足を置き、次なる成長に向けたキャッシュフロー創出能力の拡大を図るとともに、お客様や



社会のニーズを捉えた新事業・新製品の開発に引き続き取り組み、2021年の当社創立100周年を越えて持続的な成長を目指します。

事業セグメントが取り組む具体的な施策は以下の3項目です。

(1) 自動車用ホイール事業の生販構造改革

スチールホイールの国内需要の減少に対応したリンクテックス（株）との生産体制最適化、アルミホイールの国内外需要の拡大に対応した旭テック（株）との生産・販売連携等によるシナジー効果の最大化を目指します。加えて、重点投資と継続的改善により生産拠点の競争力

基本方針
G&Cの完遂と次なる成長に向けて

- 重点テーマ**
- 1 収益力向上
 - 2 グループシナジーの発現
 - 3 戦略製品の拡充
 - 4 イノベーションへの挑戦
 - 5 さらなる経営基盤の強化

| 2021年度目標 | |
|-----------------|---------|
| 売上高 | 3,200億円 |
| 営業利益 | 160億円 |
| 経常利益 | 165億円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 110億円 |
| 営業利益率 | 5.0% |
| R O E | 8.5% |
| R O A | 5.7% |
| D/E レ シ オ | 0.52 |

を強化し、グローバルで拡大する需要の捕捉と収益力向上を図ってまいります。さらに、自動車メーカーの車体軽量化ニーズやEVの普及等に対応し、魅力ある製品開発を推進します。

(2) 鉄鋼事業の戦略製品拡販

新鋭化製鋼工場の能力を最大限発揮するとともに、フォークリフト用マストレールやトンネル用セグメント部材をはじめとした当社独自の異形鋼や日本初となる異形鉄筋の新製品TACoil®（ティーエーコイル）等の豊富な製品群を持つ強みを生かして販売量の拡大を図ります。

(3) 新分野の本格的事業化

化粧品基礎原料である合成マイカは、高い透明感や安全性が評価されており、多彩な着色マイカを製品リストに加えて、国内外に販売を拡大します。

クローラーロボットは、高い登坂能力や悪路の走破性、前後左右の自在走行及び自動走行等の当社独自の機能を備えており、従来のタイヤ方式に代わるAGV（自動搬送台車）として、労働力不足を背景に需要拡大が見込まれる市場に本格参入します。

G&C 2021の最終年度である2021年度において、営業利益率5.0%、ROE（自己資本利益率）8.5%等の数値目標の達成を目指します。

Q 2019年度の取り組みについてご説明をお願いします。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済対策等により、緩やかな回復が継続すると期待されます。しかしながら世界経済は、米国と中国を中心とする通商問題の深刻化や中国の景気動向等の不安材料があり、当社グループを取り巻く事業環境は不透明な状況が継続するものと思われれます。

このような経営環境下、当社グループは、各事業セグメントにおいて需要動向を注視し、継続的なコストダウンに取り組むとともに、急騰した原材料価格等に対応する販売価格の改善を進めるとともに、市場のニーズを捉えた新製品開発にも注力してまいります。国内においては収益力向上に重点をおいた製品構成への転換を図っていくとともに、海外においては近年黒字化し、軌道に乗ってきたグループ会社のさらなる業績拡大を目指してまいります。

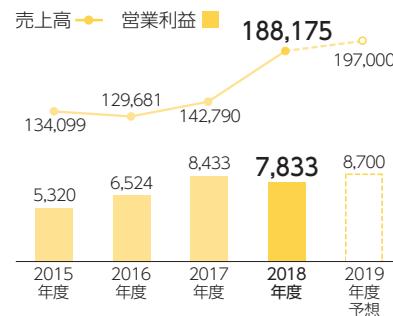
2019年度の連結業績につきましては、売上高は初めて3千億円を超える3,070億円、営業利益110億円、経常利益114億円、親会社株主に帰属する当期純利益80億円を見込んでおります。

セグメントの業績

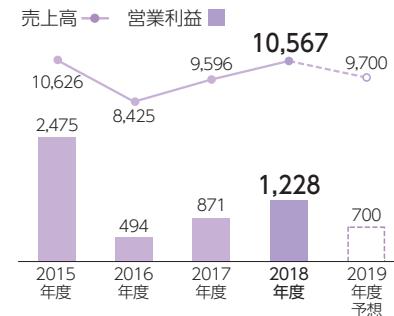
鉄鋼事業 (単位: 百万円)



自動車・産業機械部品事業 (単位: 百万円)



発電事業 (単位: 百万円)



その他 (単位: 百万円)



セグメント別売上高・営業利益 (単位: 百万円)

2018年度

売上高 286,227

- 鉄鋼事業 80,442 28.11%
- 自動車・産業機械部品事業 188,175 65.74%
- 発電事業 10,567 3.69%
- その他 7,041 2.46%

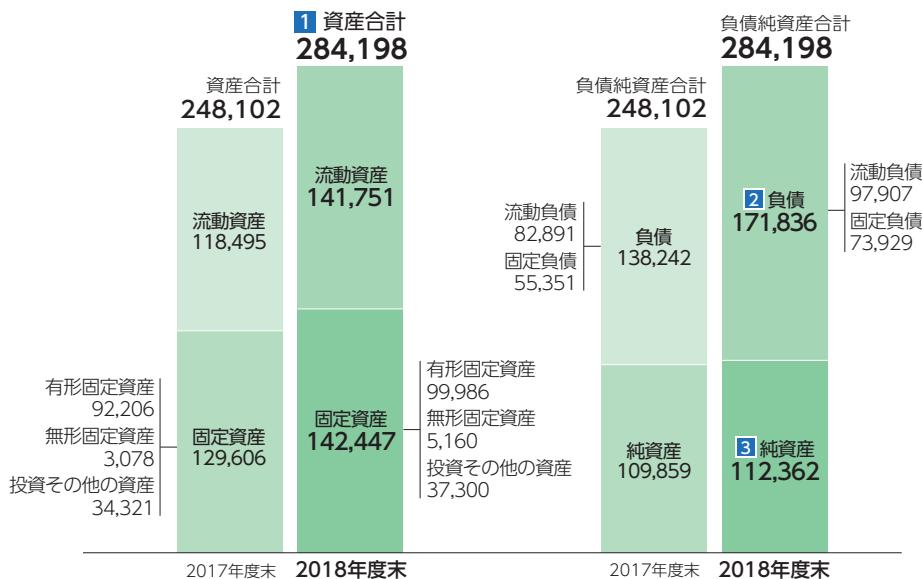
営業利益 7,505

- 鉄鋼事業 2,248 17.48%
- 自動車・産業機械部品事業 7,833 60.91%
- 発電事業 1,228 9.55%
- その他 1,550 12.06%

「セグメント別の営業利益」及び「構成比」は、調整額調整前の数値で表示しております(合計12,860百万円)。

連結財務諸表のポイント

財政状態 (単位：百万円)



1 資産

たな卸資産の増加9,381百万円、有形固定資産の増加7,779百万円、売上債権の増加6,565百万円、現金及び預金の増加6,491百万円、出資金の増加4,366百万円、無形固定資産の増加2,081百万円等により、前年度末に比べ36,096百万円増加し、284,198百万円となりました。

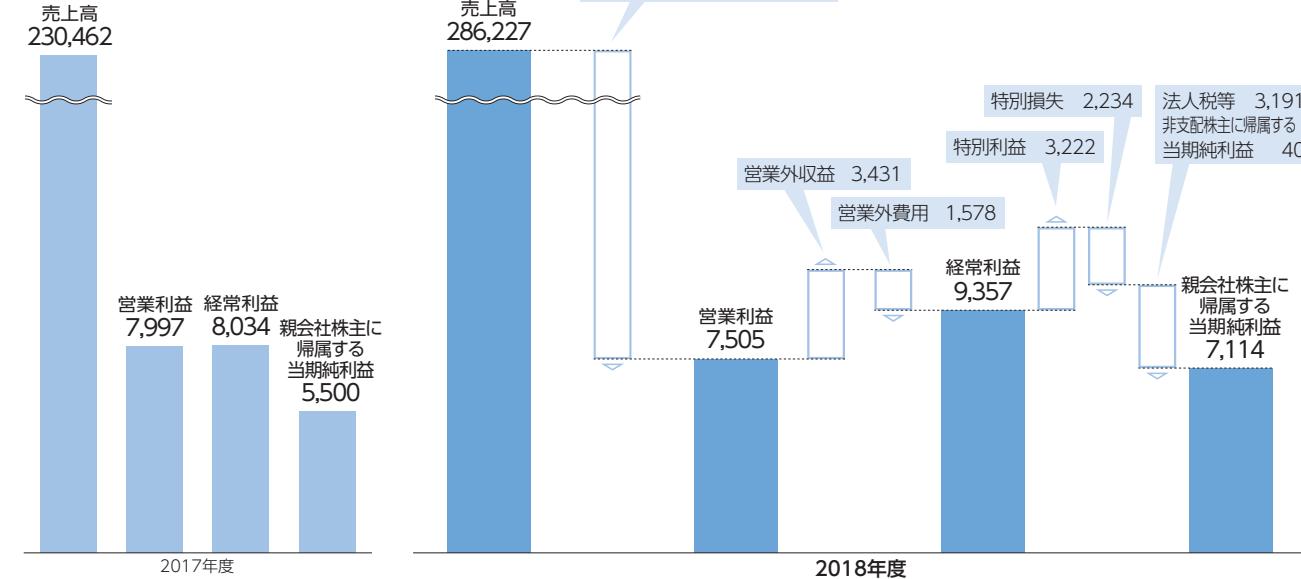
2 負債

長期借入金の増加14,521百万円、買入債務の増加8,131百万円、短期借入金の増加2,057百万円等により、前年度末に比べ33,593百万円増加し、171,836百万円となりました。

3 純資産

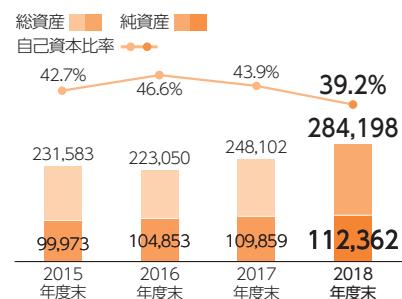
利益剰余金の増加5,229百万円、その他有価証券評価差額金の減少1,685百万円、為替換算調整勘定の減少1,054百万円等により、前年度末に比べ2,502百万円増加し、112,362百万円となりました。

経営成績 (単位：百万円)

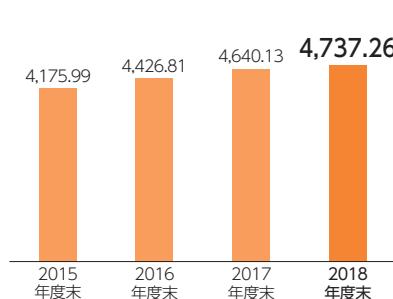


連結財務指標

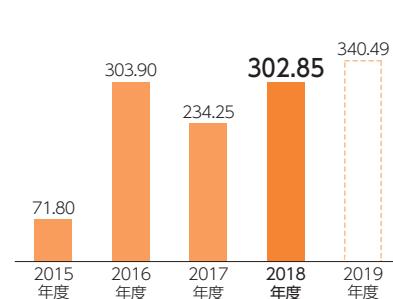
総資産・純資産・自己資本比率 (単位：百万円)



1株当たり純資産 (単位：円)

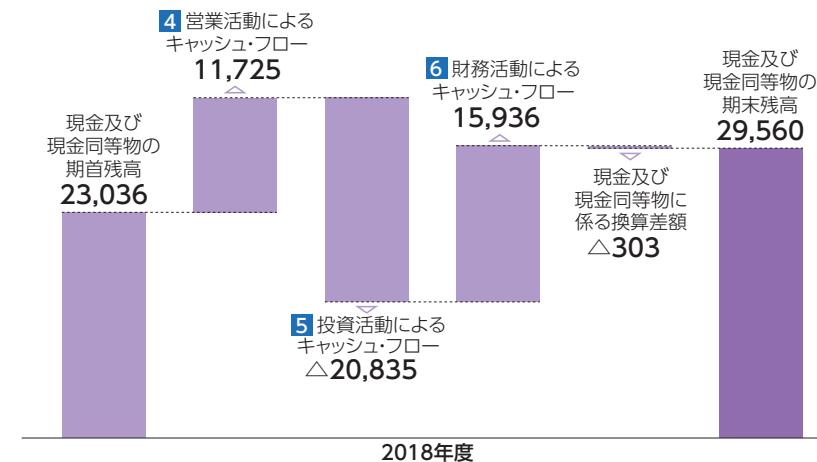


1株当たり当期純利益 (単位：円)



2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」及び「1株当たり当期純利益」を算定しています。

キャッシュ・フローの状況 (単位：百万円)



4 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益10,345百万円、減価償却費11,110百万円、たな卸資産の増加4,617百万円、売上債権の増加3,303百万円等により、11,725百万円となりました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出15,181百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出11,043百万円、有形固定資産の売却による収入5,834百万円等により、20,835百万円となりました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入18,700百万円、長期借入金の返済による支出4,846百万円等により、15,936百万円となりました。

インドネシアにおける建機部品の製造販売子会社で履帯組立ラインのオープニングセレモニーを開催

インドネシアにおける建設機械用履帯の製造販売子会社であるトピー履帯インドネシア（TUI）は、新設した履帯組立ラインのオープニングセレモニーを2月14日に現地のTUI敷地内で行いました。式典には、建設機械メーカーを



はじめ、商社や金融機関等から100名を超える関係者にご出席いただきました。

TUIは、2013年に建設機械用履帯の販売会社としてスタートし、このたび履帯組立ラインを新設したことにより、品ぞろえの拡充や供給能力の増強を図るとともに、お客様からの納期等の要望への対応力を強化いたしました。東南アジアにおける油圧ショベル等の建設機械需要は、鉱山開発やインフラ投資の拡大等を背景として中長期的に伸長していくことが見込まれます。トピー工業は、TUIを通じて、現地のお客様のニーズにきめ細かく対応することにより、需要を着実に捕捉してまいります。



豊橋製造所の新履帯組立ライン稼働開始

当社は、豊橋製造所に建設機械の足回り部品である履帯の組立ラインを新設し、このたび稼働を開始いたしました。これにより、同所において履帯の素材から製品までの一貫生産を実現し、物流コストの低減を可能としました。また、高水準な稼働が続く神奈川製造所の既設ラインに加えて、新ラインを稼働することにより生産能力の上方弾力性向上を図り、お客様の要求に迅速に対応することで顧客満足度をさらに高めてまいります。



インドネシア TPMIが主要取引先より表彰

インドネシアにおいてトラック用ホイールを製造・販売するトピーパリンダ マニファクチャリング インドネシア（TPMI）が、日野自動車株式会社の現地子会社日野モータース マニファクチャリング インドネシア社より2018年度の「ベストコストパフォーマンス」及び「スペシャルコントリビューション」を受賞いたしました。このたびの受賞は原価低減活動への取り組みとタイヤのチューブレス化プロジェクトへの貢献が評価されたものです。ダブルでの受賞は約170社あるサプライヤーの中でも数社のみとなります。

また、三菱ふそうトラック・バス株式会社の現地子会社クラムユダ・ティガベルリアン社より、2018年度の「Zero PPM Quality（年間品質不具合発生数ゼロ）」、「Zero Delay

Delivery（年間納入遅延発生数ゼロ）」を受賞いたしました。不具合発生数ゼロの受賞は、3年連続の快挙となります。

TPMIは、今後も品質、コスト、納入それぞれの面での力を高め、お客様の信頼向上に努めてまいります。



日野インドネシア
受賞式にて

社会福祉団体への寄付

当社株式を1,000株以上お持ちの株主様への株主優待は、交通傷害保険に加え、フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付のいずれかになっております。

寄付を選択されますと、株主様に代わって、当社から社会福祉団体へフラワープレゼント相当額を寄付いたしております。

| 株主優待制度の 寄付金内訳 | 2018年9月末株主様 | 2019年3月末株主様 |
|------------------|-------------|-------------|
| 寄付選択者数 | 209名 | 189名 |
| 寄付金額 | 627,000円 | 567,000円 |
| 寄付先 | (公財)交通遺児育英会 | (公財)交通遺児育英会 |

株主優待制度の詳細は裏表紙をご覧ください。

会社概要

(2019年3月31日現在)

商号 トピー工業株式会社
 創立 1921年(大正10年)10月
 資本金 20,983百万円
 従業員数 単体 1,861名 連結 6,241名

主要な事業所

本社 東京都品川区大崎一丁目2番2号
 TEL 03-3493-0777(総務部直通)

支店 名古屋支店 名古屋市中区
 大阪支店 大阪市中央区

生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市
 豊川製造所 愛知県豊川市
 綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市
 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市

研究開発拠点 技術センター 愛知県豊橋市

役員 (2019年6月25日現在)

取締役

代表取締役社長 高松信彦
 取締役副社長 齋藤徳夫
 専務取締役 熊澤智
 専務取締役 木下浩幸
 取締役 井上毅
 取締役 森脇純夫

執行役員

常務執行役員 竹内一郎
 常務執行役員 武澤雅吉
 常務執行役員 大洞勝義
 常務執行役員 小林弘侍
 執行役員 福良智志
 執行役員 中村毅
 執行役員 川野孝徳
 執行役員 大庭健太郎
 執行役員 立花修一
 執行役員 高橋正年
 執行役員 阿部正裕
 執行役員 田中克芳
 執行役員 酒井哲也
 執行役員 七山孝二
 執行役員 勝山秀雄
 執行役員 志村誠
 執行役員 田口周一

監査役

常勤監査役 小川幸弘
 常勤監査役 坂本弘一
 監査役 川端雅一
 監査役 醤油和男

連結子会社 (29社)

■日本
 トピー実業株式会社 明海リサイクルセンター株式会社
 トピー海運株式会社 株式会社三和部品
 トピーファスナー工業株式会社 明海発電株式会社
 株式会社トピーレック リンテックス株式会社
 九州ホイール工業株式会社 西部ホイール株式会社
 株式会社トージツ ATCホールディングス株式会社
 エヌイー・トージツ株式会社 旭テック株式会社
 株式会社オートピア

■アメリカ
 トピーアメリカ,INC. アサヒテックノースアメリカ,INC
 トピープレジジョンMFG.,INC.

■メキシコ
 トピー・エムダブリュ・マニユファクチャリング・メキシコS.A. DE C.V.
 トピーファスナー・メキシコS.A. DE C.V.

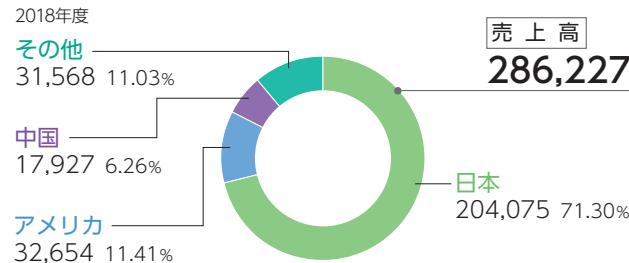
■中国
 福建トピー汽車零件有限公司
 トピー履帯(中国)有限公司
 輪泰科斯(広州)汽車零配件有限公司
 広州旭ドンリンリサーチ&デベロップメント有限公司

■インドネシア
 トピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア
 トピー履帯インドネシア

■タイ
 トピーファスナー(タイランド)LTD.
 アサヒテック・アルミニウム・タイランド

■ベトナム
 トピーファスナー・ベトナムCO.,LTD.

地域別の売上高 (単位:百万円)



株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 88,300,000株

発行済株式総数 24,077,510株

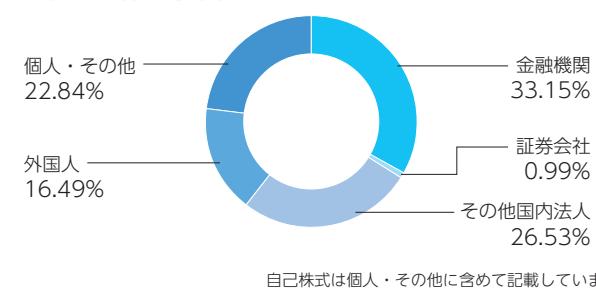
株主数 10,920名

大株主一覧 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|------------------------------------|-----------|---------|
| 新日鐵住金株式会社 | 4,818,264 | 20.46 |
| トピーファンド | 1,065,410 | 4.52 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 975,134 | 4.14 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 834,000 | 3.54 |
| 株式会社みずほ銀行 | 787,802 | 3.34 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 687,127 | 2.92 |
| 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 | 574,600 | 2.44 |
| トピー工業社員持株会 | 550,243 | 2.34 |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 537,400 | 2.28 |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 494,200 | 2.10 |

(注) 1. 当社は、自己株式を525,496株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 3. 新日鐵住金株式会社は、2019年4月1日付で日本製鉄株式会社に商号変更しております。
 4. トピーファンドは当社及び関係会社取引先持株会の名称です。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 3月31日(定時株主総会・期末配当)
 9月30日(中間配当)

単元株式数 100株

株主名簿管理人 (特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

お問い合わせ先 〒168-0063
 東京都杉並区泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法

http://www.topy.co.jp/
 電子公告により行います。
 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

第125回定時株主総会決議ご通知

2019年6月25日開催の当社第125回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

- 1) 第125期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件は、その内容について報告いたしました。
- 2) 第125期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)計算書類報告の件は、その内容について報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案：取締役6名選任の件は、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案：監査役2名選任の件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案：補欠監査役1名選任の件は、原案どおり承認可決されました。
- 第4号議案：当社の株券等の大規模買付行為に関する対応方針（買収防衛策）承認の件は、原案どおり承認可決されました。

以上

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

株主優待制度のご案内

| ご所有株式数 | 優待内容 |
|--------------------|---|
| 100株以上 300株未満 | 交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険（最高100万円） 入院特約（3,000円/日） |
| 300株以上 1,000株未満 | 交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険（最高100万円） 入院特約（3,000円/日） 通院特約（1,000円/日） |
| 1,000株以上 | 交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険（最高100万円） 入院特約（3,000円/日） 通院特約（1,000円/日） フラワープレゼントまたは 社会福祉団体への寄付 |

【交通傷害保険】

当保険は保険期間内に発生した交通事故によるけがが対象になります。疾病は対象になりません。

保険期間 3月末基準日株主様 7月1日～12月31日
9月末基準日株主様 翌年1月1日～6月30日

保険対象者 弊社株主名簿に記録されている個人・法人様
ただし、法人株主様の場合は、社長、頭取、理事長等、
当該法人様組織の長たる方1名

保険内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

株主優待「交通傷害保険」サポート事務局

株式会社トピーエージェンシー

フリーコール:0120-959-766 TEL:03-5436-0212

引受保険幹事会社：損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付】

3月末基準日株主様 6月ごろ
9月末基準日株主様 12月ごろ



表紙写真：日本科学未来館（東京）で、2月8日～5月19日に開催された企画展「工事中！」～立ち入り禁止！？重機の現場～に協賛するとともに、工事現場等で活躍する当社製品を展示しました。